

せたな

特集・平成17年度予算

歴史が動き出す
「時」に
向かって

卒煙はじめてみました。
総務町民課長補佐の卒煙日記



サケ・マス稚魚陸上2次育成池の完成を祝い開催された放流式（4月17日）

新町「せたな町」 スタートへ向けて

本年9月1日、新町「せたな町」がスタートします。明治13年、現在の「瀬棚」が誕生して125年。先人が幾多の困難に耐え、築き上げてこられたその輝かしい歴史に、今、幕を閉じようとしております。

平成の大合併という大号令のもと、全国各地で繰り広げられている合併論議は、新法の施行の前に一通りの形が見えてきました。しかし、道内に限ってみると、多くの協議会が合併を見送っています。その背景には、おのおの事情があつてのことと思いますが、檜山北部3町は、この選択を単に時代の流れとしてではなく、長引く不況に端を発しての国の地方財政計画の大幅な縮減、さらに地方分権や道州制による市町村への大規模な事務・権限移譲、少子高齢化の急速な進展など、その受皿となる基礎自治体が果たすべき役割はますます重要になってくることから、将来必ずや訪れる小規模町村への厳しい現実を見据えての決断であります。

合併で一番大切なことは、3つの町・地域がそれぞれ均衡ある発

歴史が動き出す 「時」に向けて

平成17年度は合併という特殊な事情を勘案した予算執行となりますが、各種事業の推進にあたっては、国の基本方針を的確にとらえ、限られた財源の中で一層の経費の節減に努めるとともに、これまで取り組んできた施策のさらなる進展につながる施策につきましても、積極的に取り組んでいきます。そうした本年度の予算の概要について皆さんにお知らせします。



展をすることに尽きます。その道のりは決して平坦ではない中で、地域主権の自覚のもと、3町の市民の和をもって新しい活力あるまちづくり、新たな歴史づくりのため、勇気と誇りをもって果敢に挑戦することが、新町「せたな」の発展につながっていきます。

地域資源を活かした産業振興を進めます

地域経済の柱である産業の振興は、新たなまちづくりを進めるうえで、その基盤となります。

本格稼動した日本初の洋上風力発電「風海鳥」は、全国に先駆けた取り組みとして高い評価をいただきました。さらに、地域資源を活かした新たな環境産業の形として民間による大型風車6基の建設が進められており、既存の風車と合わせた一大ウィンドファームが誕生することになります。

漁業

「つくり・育て・売る漁業」の基盤づくりを進める水産業については、生産者の皆さんをはじめ、漁業協同組合の積極的な取組によ

グリーンパワー瀬棚が整備を進める大型風車設置イメージ



(フェリーターミナル側からのイメージ)



(南川地区側からのイメージ)

農業

新函館農業協同組合の組織改革により、瀬棚支店の体制も大きく変わりましたが、明日につながる農業発展のための取り組みに対し、引き続き支援していきます。

り、着実にその成果を現わしています。マリンタウン静穏域での増養殖事業のさらなる進展を図りながら、瀬棚港の整備や漁港の計画的な整備に努め、活気のある浜づくりを目指します。

北海道ではじめて認定された「有機酪農と有機農業の推進特区」により、株式会社による農業参入が行われました。この取り組みにより有機農業のさらなる推進が期待されます。

バイオマスタウン構想

新たな取り組みとして、国が進める「バイオマスタウン構想」を受け、家畜ふん尿、水産残さ、家庭残さなどを活用したバイオマス発電により農漁業の栽培施設などに利用する当町の計画が、第一号として認定されました。この取り組みは、これまで当町が進めてきた地域エネルギーの活用や有機農業の推進などが認定につながったものです。地域の特性を活かした循環型の産業構造を目指すという当町からの新たな取り組みは、新町における地域産業の発展に大きく貢献するものと考えます。

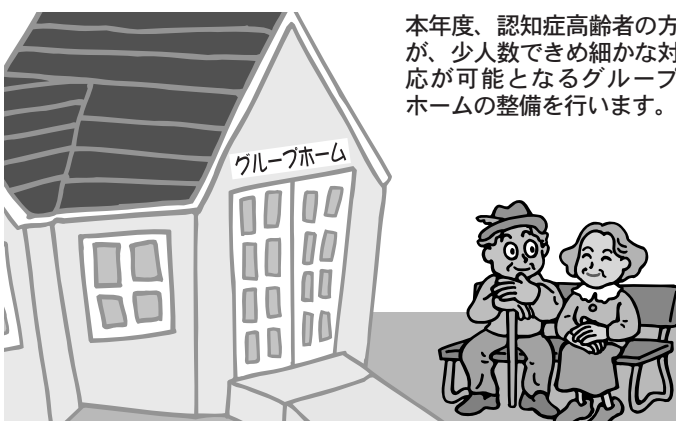
商工観光

合併により最も心配されている商工業については、長引く不況の中、各商店・事業所が一体となりさまざまな企画をもって取り組まれています。新しいまちづくりの基本は、それぞれの地域が特色をもって、地域の産業として力をつけることが大切です。そのことが、均衡ある発展に

結びつくものであり、そのための仕組みづくりや商工業に携わる皆さんの積極的な挑戦に支援していきます。

地域資源を利用した産業間の連携による新たな観光産業の創出や漁火まつりを中心とする夏の観光客の誘致はもちろん、一年を通じた賑わいのあるまちづくりを進めるためにも、合併を機に広域的な視野に立った新たな観光資源の創出に向けて支援していきます。

本年度、認知症高齢者の方が、少人数できめ細かな対応が可能となるグループホームの整備を行います。





医療体制の充実に向け高規格救急車を導入
(写真は、横浜市消防局の高規格救急車です)



高規格救急車は、車内に救急救命士が、救急救命措置などを行う際に必要な機器を装備し、器具を使った気道確保や点滴などが行える救急車両となっております。

安心して暮らせる 町を目指します

町民皆さんが「安心して暮らせる町」に寄せる期待や願いは、これまでもそして今後も変わることはありません。新しいまちづくりにおいても、一人一人が健康で、生きがいを持ちながら暮らせることが大切です。

保健・医療・介護

保健予防活動を柱とする医療センターでの取り組みは、本来の地域医療の形として高い評価を得ており、今後も引き続き地域に根ざした医療体制の充実に向けていきます。

また、救急救命士の育成に努めるとともに、高規格救急自動車を導入し、救急医療体制の充実を図っていきます。

高齢者の皆さんが安心して生活できる環境づくりとして、一人一人が楽しく安全な暮らしを続けるための介護事業の充実を進めるとともに、認知症高齢者の方が、少人数を単位とした共同住居の形態できめ細かな対応が可能となるグループホームの整備を行います。

国民健康保険事業につきまして、健康づくり事業や高齢者の交流事業を進め、皆さんの健康を守りな

がら医療費の軽減に努め、財政の健全化と被保険者の負担軽減を、さらに進めていきます。

子育て

子育て環境の充実、これからのまちづくりに大きな役割を果たすことから、保育所の運営や子育て支援事業、学童保育所などを通じ、健やかにたくましく子どもたちが育つよう環境づくりに努めていきます。

生活環境向上のため 計画的な整備を

豊かな地域資源を活かした生活環境の向上を目指して、快適で潤いのある生活を守らなければなりません。今年度も引き続き計画的に整備を進めるとともに、各関係機関との連携に努めます。

住宅・水道・道路

計画的に実施している公共下水道の整備、町営住宅の維持修繕については、今年度も引き続き進めていきます。

道路網の整備は、日々の生活や救急医療体制の確保、観光交流のため

平成17年度整備下水道工事予定箇所

- 1 [三本杉] 京谷さん～瀬棚物産地先（海側）
～瀬棚物産（山側）～来迎寺方向
- 2 [南 川] 本間さん～和光生コン地先（海側）
- 3 [南 川] カナモトリース～国道横断（山側）
～法性寺～平田さん宅（海側）

平成17年度治山工事工事予定

- 1 [西大里] 老人ホームの沢復旧治山工事

平成17年度町道整備路線

- 1 町道島歌線道路維持補修工事（島歌）
路面整正50m
- 2 町道馬場川鈴の原線路肩補修工事
（横山一康さん宅地先）土留工事15m
- 3 町道がんび岱幹線側溝流末改修工事
（岡崎覚さん宅前～第3会館地先）
横断管50m 集水枳6基





毎年、春に開催されるクリーンアップ作戦（今年は4月24日に開催）

に欠かせないものであり、渡島半島横断道路の早期完成に向け関係機関に要請するとともに、国道の防災対策としてトンネルや海岸擁壁の改修など引き続き要請し、災害に強い道路づくりを進めていきます。

身近な生活路線であります道道、町道の整備につきましても、関係機関との連携を密にしながら、整備並びに適正な維持管理に努めていきます。

防災・交通安全対策

災害に強い環境整備に向け、河川護岸対策や急傾斜地崩落対策など関係諸機関と密接な連携を取りながら整備を進めていきます。

また、近年の自然災害を教訓に日々の防災意識に心がけ、防災無線の活用、地区別の防災訓練、災害物資備蓄に努めるとともに、消防体制の充実・強化を図り、町民皆さんの生命の安全を確保するため、災害時の万全な体制づくりに努めます。

交通安全対策につきましては、交通安全指導員の皆さんを中心に地域ぐるみの啓発を進め、今後も交通事故のないまちづくりを目指します。

クリーンな環境づくり

クリーンな環境づくりに向け、町民の皆さんが中心となった生活環境づくりが必要です。国道緑地帯の花壇の造成やゴミの不法投棄防止や減量化、資源ゴミなどの分別についてさらなる啓発に努めていきます。

将来の町を担う人づくりを進めます

子どもたちが夢と希望を持ちながら健やかに成長していくためには、当町の豊かな自然環境や産業、歴

史・文化など地域の取り組みを活かした中での、確かな学力や豊かな心を育む教育を進めていくことが、ますます重要となっています。

そのため、教育研究所の支援など教育環境の向上に向けた取り組みのほか、学校、家庭、地域が連携しながら、未来を担う子どもたちや、まちづくりを担う人づくりを、教育委員会とともに進めていきます。



昨年、約1年間にわたり開催したB&G海洋環境教室

昨年実施した姉妹都市アメリカハンフォード市への研修旅行



学校教育・社会教育

商業高等学校においては、即戦力につながる高度な教育施設の活用により、不況下の雇用情勢の厳しさにも立ち向かえる、地域に密着した人材の育成に努めていきます。

社会教育においては、生涯学習の観点に立ち、自ら考え、行動する意欲のある人材の育成が求められていることから、社会教育や体育団体と連携しながら、乳幼児期から高齢期までの各種生涯学習による、生きがいのあるまちづくりを進めていきます。

また、スポーツ施設の充実を図るため、海洋センタープールのバリアフリー化など大規模改修を行い、一層の利用促進を図っていきます。

交流事業

姉妹都市ハンフォード市や荻野吟子生誕地の妻沼町との交流事業は、本年度も引き続き実施していきます。昨年末のハンフォード市訪問の際には、合併後の継続交流についても話し合ってきたところであり、今後も相互の向上を目指す交流を進めていきます。

新町への適切な移行へ ご理解とご協力を

合併により、まちづくりの形は大きく変わろうとしています。しかし、未来あるまちづくりを進めるためには、風力発電事業や有機農業の推進、バイオマス事業、地域医療の取り組みなど、これまでの各般にわたる果敢な挑戦を継続することが、新町「せたな町」の基盤となることでしよう。

さらに、新町まちづくりプランにおいて位置づけております、医療・福祉、防災、救急医療など将来のまちづくりにつながる最重要課題につ

いても積極的に取り組むこととしながら、合併特例区や議会議員の在任特例といった制度を最大限活用しながら、合併後のそれぞれの地域が均衡ある発展が遂げられることが何よりも肝要であると考えております。

新町への適切な移行を図るため、職員一丸となつて取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

歴史が動き出す 「時」に向かって

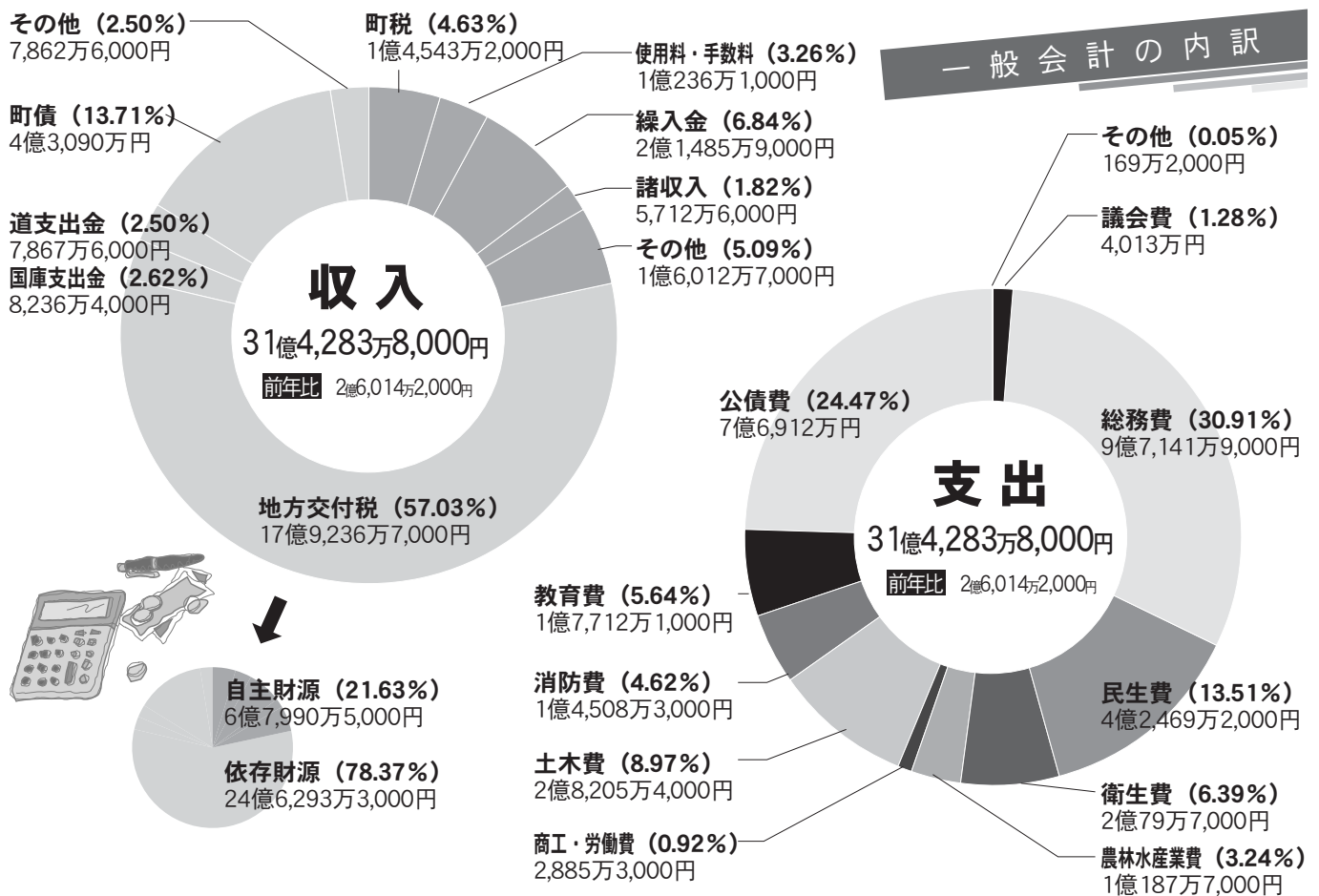
合併によってこれまでの「時」がすべて閉じられるわけではなく、むしろ、新たな歴史が動き出す「時」であると思います。

これまでにない、あまりにも大きな転換期の中にあつても、まちづくりは永遠に続いていきます。時代を先取りした数々の取り組みは、貴重な財産として、活力としてこれからの新しいまちづくりに大きな力となつて活かされるものとなるでしょう。

■ 収入 ※町債のうち赤字地方債（臨時財政対策事業債9,800万円）

(前年比)

自主財源	町 税	町民税・固定資産税・たばこ税など	1億4,543万2,000円	(△526万1,000円)
	使用料・手数料	施設の使用料・各種証明手数料など	1億236万1,000円	(△159万7,000円)
	繰 入 金	積み立て基金から取り崩して使われる財源	2億1,485万9,000円	(2,974万6,000円)
	諸 収 入	学校給食費・不用品売り払い収入など	5,712万6,000円	(△107万4,000円)
	そ の 他	繰越金・財産収入・分担金及び負担金	1億6,012万7,000円	(△391万4,000円)
依存財源	地 方 交 付 税	国税から一定の割合で交付される財源	17億9,236万7,000円	(1億219万4,000円)
	国 庫 支 出 金	特定の事業に対して国から交付される財源	8,236万4,000円	(△1,274万円)
	道 支 出 金	特定の事業に対して道から交付される財源	7,867万6,000円	(△1,596万4,000円)
	町 債	大きな事業を行うための借入金	4億3,090万円	(1億6,370万円)
	そ の 他	地方譲与税など	7,862万6,000円	(505万2,000円)



■ 支出

(前年比)

議 会 費	議会の運営にかかる経費	4,013万円	(△224万5,000円)
総 務 費	職員人件費・一般事務・施設管理費など	9億7,141万9,000円	(1億5,503万円)
民 生 費	福祉や保育などの経費	4億2,469万2,000円	(6,524万2,000円)
衛 生 費	予防接種・環境対策（ごみ・し尿の処理など）など	2億79万7,000円	(979万円)
農 林 水 産 業 費	農林水産業振興のための基盤整備や補助	1億187万7,000円	(△3,830万7,000円)
商 工 費 ・ 労 働 費	商工業や観光の振興、勤労者のための経費	2,885万3,000円	(△580万8,000円)
土 木 費	道路・河川などの整備にかかる費用	2億8,205万4,000円	(4,108万4,000円)
消 防 費	防災施設の整備、消防業務にかかる経費	1億4,508万3,000円	(2,040万9,000円)
教 育 費	学校教育や文化、スポーツの振興など	1億7,712万1,000円	(2,725万5,000円)
公 債 費	借入金（町債）の返済にかかる経費	7億6,912万円	(△1,231万円)
そ の 他	諸支出金、予備費など	169万2,000円	(2,000円)

主 な 仕 事

地域資源を活かした
産業振興を目指して

水産

●港湾の整備1億2千万円●各漁港の船揚場土砂除去29万9千円●ウニを浅いところへ移す（キタムラサキウニ）130万円●ウニ種苗中間育成（エゾバフンウニ）49万8千円●アワビ人工種苗購入220万円●クロソイ中間育成80万円●漁協の広域合併に伴う組合員の負担軽減141万2千円●サクラマス資源増大スモルト放流85万4千円●ヨド海岸密漁対策・ウニ種苗放流（1万個）21万円●水産業興基金貸付金150万円●マリンタウンアンカーブロック設置330万円

農業

●国営土地改良北檜山右岸地区事業の負担金など364万8千円●生産性の向上と経営の安定化対策978万9千円●酪農ヘルパー導入に関する助成など134万9千円●農畜産物加工センターの運営320万4千円●東大里地区の農地防災事業180万円●農業協同組合の広域合併に伴う組合員の負担軽減1,000万円●クリーン農業の推進168万4千円

林業

●民有林の造林助成79万4千円●町有林の維持管理77万1千円●東大里地区の町有林造成146万4千円●長浜林道の維持36万円●茂津多林道の維持61万円●生活環境保全林の周辺維持44万9千円●森林整備地域活動支援交付金348万5千円●森林管理道大里線の開設3,005万円●植樹事業35万円

商工観光

●商工会活動への助成805万円●中小企業経営安定資金融資利子補給140万円●観光協会活動への助成76万円●せたな漁火まつりへの助成300万円●自然公園の維持管理514万6千円●青少年旅行村の運営719万6千円●観光ポスターの作成39万4千円●地下鉄への観光ポスター掲出68万3千円

労働

●季節勤労者就労前健康診断など29万7千円

産業担い手

●新規産業就業者支援奨励金15万円●後継者就業準備奨励金15万円

安心して暮らせる
町を目指して

老人福祉

●緊急通報装置などの保守や整備167万円●高齢者などの生活支援（訪問・電話・除雪サービス）100万円●生活管理指導員の派遣458万1千円●生きがい活動の支援375万5千円●配食サービス事業565万6千

円●老人居室整備資金の利子補給2万4千円●世代間交流生きがい事業54万5千円●外出支援サービス事業111万9千円●家族介護用品の支給36万円●家族介護手当の支給24万円●高齢者生活支援給付金18万円●老人クラブへの助成102万円●老人医療費助成756万円●檜山北部広域連合事業3,465万2千円●老人福祉施設入所者措置事業6,353万7千円●高齢者事業団への助成100万円●長寿記念品の支給63万5千円●敬老会の開催48万5千円●寿大学の開設12万5千円●老人ホームの運営5,914万3千円●生活支援ハウスの管理913万3千円●高齢者グループホーム建設事業4,216万円

児童福祉

●乳幼児の医療費助成384万4千円●子供の遊び場の運営12万4千円●母子家庭などの医療費助成110万1千円●保育所の運営2,616万2千円●学童保育事業274万2千円

障害者福祉

●人にやさしい家づくり助成30万円●心身障害者福祉3,100万6千円●重度心身障害者医療費の助成990万9千円

健康増進

●インフルエンザなどの感染症予防346万4千円●結核予防21万8千円●エキノコックス症予防12万1千円●健康づくり事業593万4千円●禁煙対策推進事業委託（禁煙パッチ助成）28万円

総合的福祉対策推進と環境整備

●ふれあいのまちづくり事業委託450万円●福祉バスの運行委託356万2千円●在宅介護支援事業155万7千円●環境衛生事業115万円●西方霊苑の管理27万9千円●温泉の管理147万6千円●狩場葬斎組合負担金228万5千円●北部檜山衛生センター組合負担金7,731万1千円●公営温泉浴場の運営2,095万1千円

生活環境の
向上を目指して

住宅環境

●定住者住宅の管理106万4千円●町営住宅の維持250万円

交通安全対策

●交通安全対策（指導員・活動団体支援・啓発など）160万5千円

防災対策

●防災行政無線の管理事業費217万1千円●馬場川防潮水門の管理679万9千円●災害備品備蓄倉庫新築300万円

消防

●救急救命士の養成9万3千円●消防職員 of 被服整備39万円●消防学校派遣51万2千円●婦人防火クラブの活動助成8万円●高

規格救急自動車購入2,322万4千円

町民の負担軽減

●函館バスの運営費助成156万4千円●街路灯の維持助成327万5千円●町営バスの運行1,208万8千円

地域交流活動

●花のまちづくり（国道花壇づくり）120万8千円

道路・河川・海岸・下水道

●町道の維持補修200万円●町道の維持管理360万円●町道島歌線維持補修30万円●町道馬場川鈴の原線路肩補修100万円●町道がんびい谷幹線側溝流末改修280万円●町道の除雪事業費、防雪柵設置・撤去4,063万円

将来の町を担う
人づくりを目指して

教育環境

●学校の給食3,284万9千円●教員の研修58万1千円●教育研究所事業56万5千円

健康管理

●児童生徒の健康管理（健康診断など）77万2千円●教職員の健康管理（健康診断など）63万6千円

高等学校

●パソコンなどのリース725万8千円●ハンフォードなどへの見学旅行120万9千円●姉妹校との交流8万円

社会教育

●わんぱく探偵団の開催2万5千円●団体活動育成助成（少年、青年、女性、文化）69万円●成人式の開催19万3千円

スポーツ振興

●団体活動育成助成70万1千円●檜山管内スポーツフェスタ派遣20万円●B & G海洋体験学習の派遣53万円●B & Gスポーツ北海道大会の派遣10万円●パークゴルフ場の管理57万9千円●海洋センタープール改修2,722万9千円

負担軽減

●バス定期運賃の助成（瀬棚～檜山北高）99万2千円（市街～須築）14万6千円●児童生徒の就学援助302万3千円●スクールバスの運行1,097万2千円●P T A 活動の助成5万5千円

交流

●モニターツアーの開催25万円●妻沼町訪問団派遣81万円●ピアノコンサートなどの国際交流81万3千円

卒煙はじめてみました。

総務町民課長補佐の卒煙日記



—— 健康増進法の施行以来、何かと肩身の狭い思いをしている方も多いと思います。「絶対やめないぞ」という変な意地もあった私
が、今、突然何の計画もなく、卒煙に挑戦しています。とは言っても、きっかけがなかったわけではありません。しいて言えば最近、職場の中でも卒煙の話題が飛びかうようになり、ある日「その気になったらいつでも！」なんて冗談を言っていたのが「それじゃあ広報で卒煙ルポでも…」ということになってしまったのです。

—— そんな中、広報4月号の原稿を見てビックリ。なんと編集後記で体験ルポの連載をほのめかしているではありませんか。正直「マジかよ。」です。それでもまだ決裁の段階ですから、いくらでも変更できるので「ここ削除して…」と言えば済むのですが、「それでは男がすたる！」とでも勘違いしたのでしょうか、GOサインを出してしまったのが卒煙のきっかけだったのかも知れません。今回は、そんな意志の弱い男の卒煙体験を報告します。

それは突然はじまった！

どんな理由があるにせよ、自分で決めたこと。何としてでもやり遂げなければなりません。なんて言っても、25年以上も吸い続けたタバコとサヨナラするのは、かなりの大事業なのですが、その日は意外とあっさり訪れたのです…。

4月13日。「今日は私の卒煙記念日です。」のんきに歌っている場合ではありません。朝からそれなりに信念を持って臨んだせい、不思議なくらい吸いたいと思わない。午後、いよいよ診療所へ。「ミスター卒煙・ドクター吉岡」のもとへ。

禁煙パッチは魔法の薬？

禁煙で一番不安だったのが禁断症状でした。今回は「禁煙パッチ」を使って、タバコを吸わない生活習慣を禁断症状を抑えながら身につけていく「ニコチン置換



吉岡医師から卒煙方法の説明を受ける

療法」で卒煙にチャレンジ。

「本当に効くの？」という疑いの目で見ていましたが、あくまでも吸わないという強い意志を助ける治療薬です。これを貼ったからといって必ず禁煙できるというものではありません。

町では、4月から禁煙パッチを利用して禁煙する方に助成をはじめました。禁煙したいと思っ
ていてもなかなか踏み切りがつかないと言う方も多いと思います。果たして、禁煙パッチはどれだけの力を発揮してくれるのでしょうか。

吉岡先生の処方を受け、2週間サイクルでやっていきましょ
うとのこと。最初は直径六センチのシールを貼り、段階的に

シールを小さくしていきます。結構大きいのはビックリ。

次は、助成を受けるための手続き。とい
つてもいたって簡単ですが、宣誓書なるものを書かなければなりません。一種の決意表明のようなものです。書いたら書いたで「よし！」と気合が入ります。これを保健センターでやさしい保健師さんに渡し、薬局に行つてパッチを購入。いよいよ、最初の一枚です。

保健センターに宣誓書を提出



現在も卒煙はリアルタイムで進行中…

“やすみどり”始まる

そろそろタバコをやすみませんか？



禁煙を手伝います！

✦タバコによる健康被害を減らすために、卒煙応援事業を始めました。タバコをやすみませんか？ということで、「かざみどり」(洋上風車の愛称)、「ほそみどり」(ダイエット教室の名前)に続き、「やすみどり」と名付けました。

✦タバコをやめてみようかな、というみなさん、ぜひ保健センターに相談したり、診療所に受診したりしてください。卒煙の方法をお伝えします。そして薬の費用(1ヶ月で約1万2千円・2ヶ月で卒煙できます)のうち5,600円が公費助成されます(町民のみ)。

✦この助成は、北海道初の取り組みです。ちなみに、肺癌の医療費(入院・手術の場合)は80万円と試算されます。100人に助成して、1人でも予防できれば、その分は返ってきます。そのほかにも多くの病気の原因となるのは言うまでもありません。

✦瀬棚町は、読売新聞の5回シリーズでも取り上げられたように、日本でも有数の、病気予防に力を入れている町です。今後も医療センターはみなさまがより健康な生活を送れるように努力を続けたいと考えております。周囲の方々に「こんな取り組みが有るよ」と広めていただけたら嬉しいです。

瀬棚町医師診療所医師 吉岡和晃

医師診療所 ☎7-2470
保健センター ☎7-3990

1禁煙パッチは「朝」貼ろう。

さて、ここからが今回の本題となります。まさに卒煙体験レポート。良くも、悪くも参考になれば幸いです。

順調、順調。

2私の場合は一週間後から…

最初の5日間は、葬儀の手伝いや札幌日帰りなどがあつたわ

最初、風呂上りに貼って、そのまま寝ていました。そしたら、眠れないわ、変な夢を見るわで大変。吉岡先生に相談したところ、「興奮状態にありますね。」ということ、寝る数時間前にはがして朝に張ることにしました。私の場合はこれでOK牧場！

3失敗は成功のもと。

もちろん、このまま最後まで頑張ろうと思っっていますが、この先何があるかわかりません。この広報が届くころには卒煙一カ月を迎えているはず。人にもよりますが8週間が一応

「追伸」 またタバコを吸っている夢を見たそうです。最初のころはビックリして飛び起きましたが、最近はある意味うれしくなりました…。

【総務町民課長補佐 福土裕継】

我慢・辛抱当たり前！

気のせい、貼ってまもなく「ホワ」という気分に。明らかにニコチンが体内に入っていくのを感じる。その後は、イライラすることもなく、タバコのことを忘れて一日目が過ぎました。



冗談から始まった卒煙体験がスタート



最初のパッチは意外と大きい

りには、この程度かと思うほど実に快調そのもの。しかし、私の場合は一週間目あたりからつらくなりました。無意識のうちにタバコを吸いにいこうと席を立ったり、「あー、タバコが吸いたい。」と普通に思うことが多くなりました。この原稿を書いている今もそうです。(ちなみに今日は4月29日みどりの日。卒煙をはじめて17日目。)それでも、ガムを噛み、気を紛らわしながら、続けられています。いや、結構続けられるものです。もちろん多少の我慢・辛抱は必要ですが、これを禁断症状というのなら頑張れる気がします。

の目安。ただ、私はこう思いま

す。失敗を恥じる必要はない。むしろ「進歩」と考えるべきです。はじめから失敗しようと思っ

始める人はいません。あまり気合を入れ過ぎず、「ちよつとそこまで散歩。」くらいの気持ちで秘訣かもしれません。

さて、いかがでしたでしょうか。原稿を書く元気があれば来月号にも登場したいと思っています。

今回、卒煙(禁煙)について自らの体験を報告しましたが、決して禁煙を強いるものではありません。「そろそろと思っ

方」や「迷っている方」の参考になればうれしいです。

サッポロ瀬棚三杉会総会が開催されました 瀬棚町にゆかりの人たちが集う

4月25日、札幌市でサッポロ瀬棚三杉会総会が開催されました。サッポロ三杉会は札幌近郊（近隣市町村も含む）に在住する瀬棚町出身者（縁故の方も含む）で組織されている会です。当日は、会員約40名と瀬棚町より、町長、議長、商工会長、観光協会長、など7名と三杉太鼓保存会のメンバーが出席しました。懇親会では、スライドを使った瀬棚の近況の報告や、昨年の事比羅神社例大祭のビデオを放映したほか、昨年好評だった三杉太鼓保存会による太鼓の披露も行い、祭り囃子や沖揚げ太鼓を披露しました。（中には、太鼓見たさに参加されたという方も…）そのほか、ビンゴ大会やカラオケ大会なども開催され、会員それぞれが思い出話を花を咲かせました。



馬場川にサケ・マス稚魚陸上2次飼育池が完成 サケ・マスの回帰率向上を期待

4月17日、サケ・マス稚魚陸上2次飼育池の落成式と、稚魚の放流式が開催されました。この飼育池は、サケ資源を増やそうと昨年秋、東大里の馬場川沿いに整備したものです。飼育池は、1グラム程度の稚魚を放流できるまでの大きさになる約1カ月間育てる施設です。馬場川の水を引いているため、今後の遡上が期待されます。整備にあたっては、ひやま漁協が事業主体となり、瀬棚、北檜山両町などの補助を受け、約860万円をかけて昨年11月に完成しました。面積は約330㎡で、今年3月上旬から稚魚200万尾を育ててきました。放流式には、同漁協サケ定置網部会（斎藤誠部会長）の会員などが出席し、その後、馬場川小の児童が、稚魚の放流を行いました。（2ページ・3ページに写真を掲載）

馬場川と島歌小学校が合同で交通安全教室を開催 自転車の安全な乗り方を学習

4月27日、基礎的な交通ルールやマナーを身につけることなどを目的に、馬場川小学校、島歌小学校の合同による交通安全教室が開催されました。当日は、北檜山警察署瀬棚駐在所及び交通安全指導員の協力のもと、子どもたちは本町5区の市街地などを実際に自転車で巡回し、交通ルールやマナーを学びました。また、1、2年生については、自転車ではなく徒歩で市街地の安全な歩き方を学びました。



コリドール交流情報館

～行ってみよう！となりまち～

長万部町

～参加者募集中～

毛がにロードレース

●開催日/6月26日（日）●会場/長万部中学校グラウンド●種目/1.2km、3km、5km、10km、ハーフマラソンの部、小学生、一般男女、車イスなど全部で14種目（副賞は毛がに）●受付/5月27日（金）まで●参加料/3,000円※1.2km、3kmの部は1,000円●問い合わせ先/教育委員会 ■01377-2-2748

八雲町

～八雲町の花「つつじ」の名所～

落部公園つつじ祭り

今年の「落部公園つつじ祭り」では、歌謡ショーやカラオケ大会、ジャンボビンゴなど楽しいイベントが盛りだくさん。熊石町郷土芸能「奇岩雲石太鼓」がオープニングをかざります。●日時/6月5日（日）午前10時～午後3時●会場/落部公園（雨天時は落部町民センター）●お問い合わせ先/同実行委員会（役場落部支所内）■01376-7-2231

熊石町

～特産の「あわび」がメインのお祭り～

熊石あわびの里フェスティバル

あわび食街道・浜焼き街道・いにしえ食街道など色々な「食」が格安で味わえます。活あわびが当たる宝餅まきや、ジャグリングパフォーマンスショーなどイベント盛り沢山。●期日/5月15日（日）午前9時30分～●場所/熊石町青少年旅行村●お問い合わせ/同実行委員会 ■01398-2-3111

大成町

～4月よりオープンしてます～

秘湯「湯とびあ臼別」

4周囲を大自然に囲まれた静かな臼別渓谷にある秘湯は地元湯治客や観光客に大人気。お湯は天然硫酸塩泉で無色透明、湯温は約53度。慢性皮膚病や神経痛に効果があります。●場所/大成町字宮野（国道沿に看板あり）●入浴料/無料（お心のある方に清掃協力金として100円頂いています。）●お問い合わせ/産業課商工労働観光係 ■01398-4-5511

北檜山町

～190mの超ロングホール～

北檜山パークゴルフ場

温泉ホテル日帰り入浴・パークゴルフ場共通ポイントのサービスがあります●プレー代/1ラウンド 高校生以上300円、中学生以下・70歳以上100円、1日券 それぞれ1ラウンドの2回分●用具1式 200円●回数券/12ラウンド用 3,000円●問い合わせ・申込先/企画商工観光課 ■01378-4-5111、北檜山グリーンパーク ■01378-6-0530

今金町

～5月中旬オープン～

奥美利河温泉山の家

奥美利河温泉山の家が例年ない豪雪の影響で5月中旬オープンする予定です。●料金/日帰り入浴 大人300円、小学生150円、幼児無料 宿泊 大人5,557円、小学生4,777円（1泊2食付、税込み）●お問い合わせ・予約申し込み/クアプラザピリカ ■01378-3-7111



馬場川小学校「緑の少年団」が恒例の街頭募金活動を実施

緑の羽根募金へご協力お願いします

4月25日、本町5区の西村精肉店横で、毎年恒例となった馬場川小学校「緑の少年団」による緑の羽根街頭募金が行われました。子どもたちは元気に「緑の羽根募金へご協力お願いします！」と通りかかった方に募金への協力を呼びかけました。また、当日は会場でサツキの苗の無料配布も行われました。



プレジャーボート利用者が瀬棚港に掲示板を寄贈

プレジャーボート利用秩序の向上に向けて

4月5日、瀬棚港のプレジャーボート利用者である北檜山町の狩野建設有限会社代表取締役 狩野豊一氏より、プレジャーボート利用区内の利用秩序の維持に活用していただきたいと、掲示板が寄贈されました。掲示板は、瀬棚港プレジャーボート利用区内に設置（上写真）され、今後、プレジャーボート利用に関する利用秩序の周知に活用していきます。



ご利用ください 北檜山職業相談室での 取り扱いについて

雇用保険受給手続きから認定・給付まで、ご本人の申し出により八雲出張所で取り扱いができますのでご利用ください。

また、お仕事に関するご相談を派遣日以外でも行っていますのでお気軽にご相談ください。なお、5月・6月の函館公共職業安定所職員の北檜山職業相談室派遣日は、次のとおりです。

◎日時

・5月18日 ㊦午後1時～午後5時
・5月19日 ㊦午前9時～正午
・6月15日 ㊦午後1時～午後5時
・6月16日 ㊦午前9時～正午

☎北檜山職業相談室

☎4・5724

☎ハローワーク函館

☎0138・26・0735

☎ハローワーク八雲

☎01376・2・2509

お気軽にご相談を 登記相談所 開設日のお知らせ

毎月、司法書士の方々がボランティアで「登記相談所」を開設し、登記に関する各種相談を行っております。(月1回程度)相談を希望される場合は、事前に相談希望日の担当となる司法書士へ直接電話にてご予約をお願いいたします。

◎相談にあたる司法書士

・井上正範 ☎01377・2・5325
・成田英雄 ☎01376・5・5607
・佐々木長芳 ☎01376・3・2703

◎開設時間／午前10時～正午

◎会場／やすらぎ館

◎5月6月の相談所開設日

・5月17日 ㊦(井上) 法律顧問
・6月21日 ㊦(成田)

☎役場総務町民課

☎7・3311

施設管理者の方へ 受動喫煙防止への 対策について

八雲保健所では、渡島保健所と合同で受動喫煙防止対策推進事業を実施しています。

禁煙または分煙として認定された施設にはステッカーを交付します。また、希望に応じ保健所のホームページに掲載します。対象となるのは、学校、体育館、病院、集会場、事務所、官公庁施設、そのほか多数のものがあります。ただし、飲食店は「空気もおいしいお店」推進事業となるので除きます。

☎八雲保健所保健予防係

☎01376・3・2168

ルールを守って正しく使う 6月1日～10日は 電波利用保護週間

電波の利用は、携帯電話や人命・財産の保護などあらゆる分野で重要な役割を果たしていますが、不法無線局が重要無線通信やテレビ放送に妨害を与えるなど、社会的な問題を起こしています。

このため、総務省では6月1日から10日までを「電波利用保護週間」と定め、電波利用環境保護の大切さを訴えています。

☎北海道総合通信局

不法無線局、混信・妨害

☎011・737・0099

テレビ・ラジオの受診障害

☎011・737・0033

そのほか行政相談

☎011・709・3550

詳しくは衛生センターまで 職員採用試験の ご案内について

北部檜山衛生センター組合では、7月1日付で採用する職員一名の採用試験を実施します。受験資格及び申し込み手続きは次のとおりです。

◎受験資格

・昭和56年4月2日から、昭和62年4月1日までに生まれた者。(学歴は問いません)

※ただし、日本国籍を有しない者または地方公務員法第16号の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

入札予定価格と 入札結果の公表について

予定価格が「130万円を超える建設工事」「50万円を超える建設工事に伴う調査・測量・設計等の委託業務」について「入札予定価格の事前公表」をしています(随意契約は「事後公表」)。あわせてその「入札結果の公表」についても実施しています。(下記一覧表)なお、入札執行の状況は役場前の掲示板に公表し、建設水道課でも閲覧しています。



4月22日入札執行分

工事(業務)名	契約の方法	契約業者名	契約金額	予定価格	落札比率	完成期限
町道がんび谷幹線側溝流末改修工事	指名競争入札	(有)福井技建	270万9,000円	279万3,000円	97.0%	H17. 7.10
公宅屋根改修工事	指名競争入札	長内板金店	215万2,500円	223万6,500円	96.2%	H17. 6.20
簡易水道(島歌・元浦)漏水調査業務委託	指名競争入札	札幌フジ地中情報㈱	89万2,500円	93万4,500円	95.5%	H17. 6.23

※金額はいずれも消費税込みの金額です。落札比率は小数点第2位で四捨五入しています。

【担当:建設水道課 金澤】

《自動車税の納期は5月31日です》 問い合わせ先/檜山支庁税務課 ☎01395-5-21010

自動車税は毎年納めていただく税金です。納期限までに納めましょう。また、納税には便利で確実な口座振替を！

戸籍の窓口

KOSEKI NO MADOGUTI



おくやみ申し上げます

- 山崎ハルエさん (92) 島歌2区
- 桂田 榮子さん (70) 本町5区
- 細川 フミさん (99) 本町1区
- 松田フサノさん (89) 本町3区

(3月15日から4月14日まで届出)

YOSAKOI ソーラン札幌大会 スケジュール

6月11・12日 チームNo.139		瀬棚気合一本！！	
土	11:54	澄川会場	ステージ 南区澄川3条6丁目
土	13:49	麻生会場	パレード 北区麻生町7丁目
土	15:30	新琴似会場	パレード 北区新琴似7条6丁目
日	10:33	大通り西8丁目	ステージ 大通り西8丁目
日	12:50	大通りパレード南コース	パレード 大通り西4丁目～10丁目
日	14:34	平岸会場	パレード 豊平区平岸2条4丁目～7丁目
日	17:12	一番街・丸井今井前	パレード 中央区南1条西2丁目

ご声援よろしくお願いします！

人口と世帯

4月末現在 (前月比)

人口	2,715人	(+16)
男	1,305人	(+13)
女	1,410人	(+3)
世帯	1,165世帯	(+20)

身近な問題の解決に

5月16日～21日は 春の行政相談週間

暮らしの中で、国の役所や公団などが行っている仕事やその手続き、サービスについて、

関心 衛生センター総務係

☎6・0070

◎履歴書の提出先
・北部檜山衛生センター組合総務係宛(北檜山町字共和120番5)

◎申込手続

・履歴書・身分証明書各1通を提出。
◎受付期間
・4月25日から5月25日まで。
(郵送の場合は5月25日の消印のあるものに限る)

◎相談内容
・老人保健・福祉、道路、年金、登記、郵便、貯金、消費者保護、雇用保険、役所の窓口サービスなど

※行政相談委員に本町9区の田村昭司さんが再委嘱されました
4月1日付で総務大臣から田村昭司さんが行政相談委員に委嘱(再委嘱)されましたので合わせてお知らせします。

関心 函館行政評価分室

☎0138・23・0909

関心 瀬棚町行政相談委員

田村昭司 ☎7・2322

困っていること、納得できないこと、こうしてほしいなどがありましたら、お気軽にご相談ください。相談無料、秘密厳守です。

いつでもご相談ください 法律問題や人権問題 相談をお受けします

函館地方方法務局と函館人権擁護委員協議会では、人権擁護活動の一環として6月1日(午後4時) やすらぎ館で「特設人権相談所」を開設します。なお、函館地方方法務局及び人権擁護委員の自宅ではいつでも相談に応じます。※相談無料、秘密厳守

◎相談内容

・いじめ・家庭内のいざこざ・不動産の登記など身近な法律問題や人権問題など

関心 函館地方方法務局

☎0138・26・5686

関心 瀬棚町人権擁護委員

田村昭司 ☎7・2322

岩田陵子 ☎7・2667

総務町民課戸籍年金係からのお知らせ

担当：浜登幸恵

年金電話相談センターをご利用ください

平成17年4月から、年金制度が改正されていることを何度かお知らせしていますが、その内容を含めてさまざまな年金に関する相談や確認について電話でお答えする「年金電話相談センター」が開設されていますのでぜひご利用ください。

例えば、こんな時に…

❖自分には年金を受け取る権利はありますか？
❖60歳になったので、年金の請求をしたいと思っているのですが、何が必要ですか？
❖年金に関する通知が届いたのですが、どういう意味ですか？
❖年金を受け取る年齢を過ぎて働いていますが、どのくらい年金が調整されますか？
❖雇用保険法による「失業給付」を受ける場合、年金はどのくらい調整されますか？



上記のほかにも、年金のしくみ、年金の手続き方法、請求方法などのさまざまな質問・疑問にお答えしますので、ぜひご利用ください。

◎電話番号…☎0138-30-5165 ◎受付時間…午前8時30分～午後5時

国民年金保険料は期限内に納めましょう！



4月12日、春の交通安全運動の一環として、町内の高齢者を対象にした「高齢者運転技術研修会」が開催されました。当日は、北海道警察交通教育隊の擬似運転装置（シュミレーター）が役場前に設置され、参加した町内の老人クラブの皆さんが、研修を行いました。参加された方は、擬似運転装置を使って実際に運転シュミレーションを行い、さまざまな危険運転防止について研修を行いました。

編集後記

訂正のお願い

先月号の瀬棚町役場組織機構図を次のとおり訂正願います。

(誤) 出納室 瀧澤光彦



(正) 収入役 瀧澤光彦

▼今年もサッポロ三杉会総会に行ってきました。昨年同様、三杉太鼓保存会の皆さんに、太鼓の披露をお願いし、大太鼓を会場のホテルの8階まで…。今年は昨年の経験を活かし、スムーズに太鼓を分解。なんなく最後の扉を抜きました。昨年の苦労が芽生えた瞬間でした。また今年は、スライドによる瀬棚の近況報告や事比羅神社例大祭のビデオ放映、そして太鼓の祭り囃子では、笛の演奏など、出すぎでは？と思われるほど私の出番が多かったです…。▼先月号の編集後記で予告したとおり、F補佐の卒煙体験ルポをご紹介しました。F補佐は「体験ルポをやるぞ!」というんな場面で宣言していたので、私も真に受けて、先月号の編集後記で本人の承諾なく予告を掲載しました。「これはマズイだろ…」と言われるのが半分、「おいしいなこの企画、書かれたからにはやってみるか!」と言われるのが半分で決裁を上げたところ…。やはり後者の方で、「やめるのが淋しい」と言いながらも、広報の締め切りを逆算し即診療所へ。そして現在もリアルタイムで卒煙が進行中です…。ぜひ、卒煙証書までたどりつき、また広報でその報告をしていただければと思います。以上、私の「卒煙日記体験ルポ」の体験ルポでした。それでは、結果をお楽しみに! PS.この企画は決してF補佐に卒煙を強要するものではなく、F補佐の健康を願う気持ちの結果的にきっかけとなり、生まれたものであります。(尾)